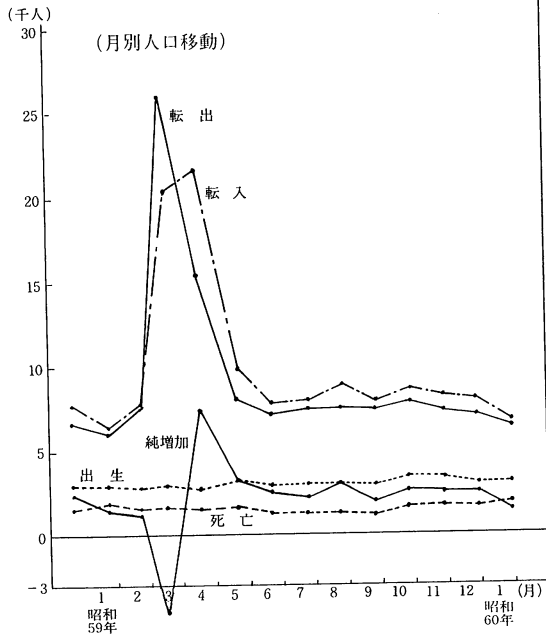
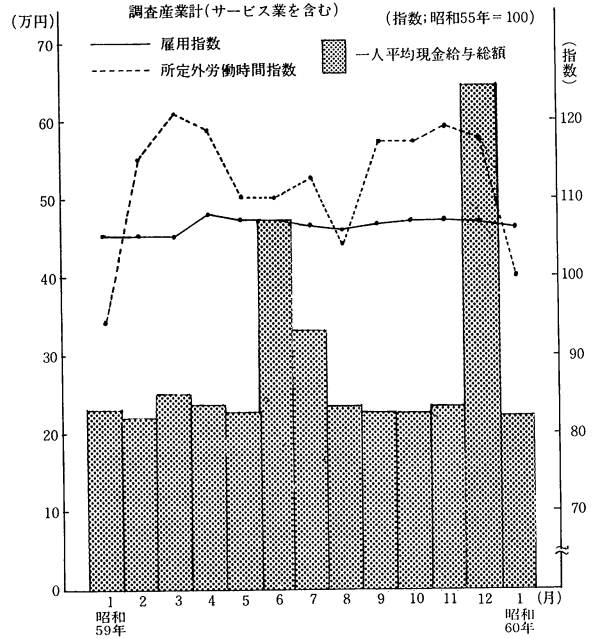


今月の主な動き

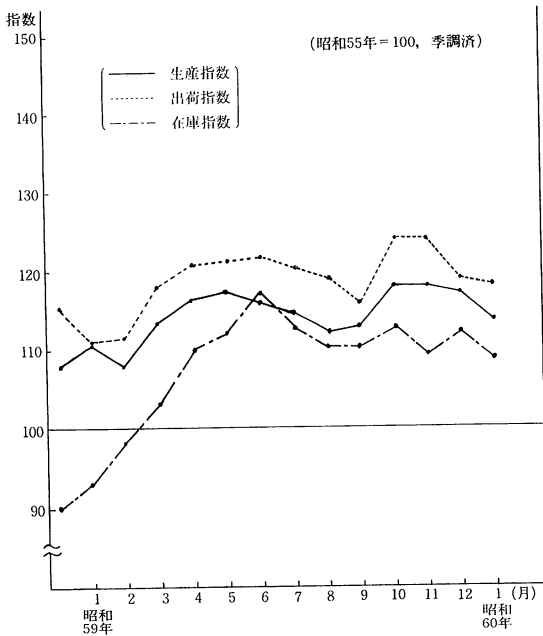
人 口



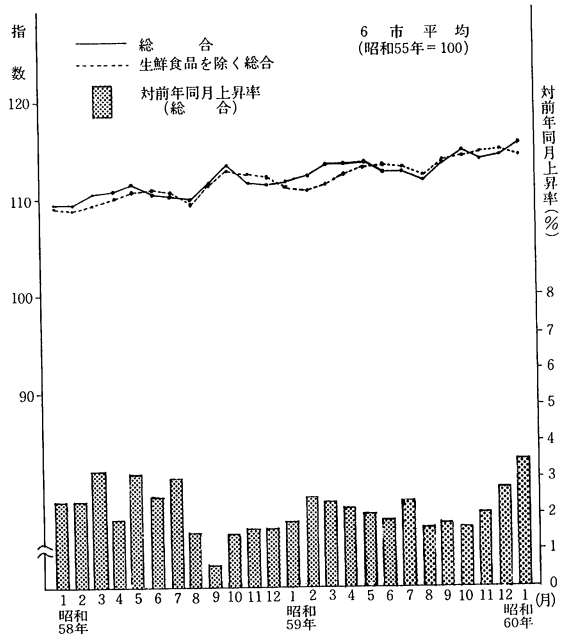
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に1,473人増加し、2月1日現在で2,699,638人になった。昨年2月1日現在と比較すると25,917人(0.97%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,093人(出生2,924人、死亡1,831人)の増加、社会動態では、わずか380人(転入6,857人、転出

6,477人)と少ない増加である。

市町村別では、増加15市43町村、減少3市30町村、増減なし1村である。

世帯数は397世帯増加し、751,545世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

1. 平均賃金の推移

1月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は222,148円で前月に比べ65.5%減(前年同月比0.8%増)であった。

このうちきまって支給する給与は216,142円で前月に比べ2.5%減(前年同月比3.7%増)であり、特別に支払われた給与は6,006円で前年同月に比べ6,111円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は157.9時間で、前月に比べ12.5%減(前年同月比1.8%減)であった。

このうち所定内労働時間数は142.4時間で、前月に比べ12.1%減(前年同月比2.5%減)であり、所定外労働時間数は15.5時間で、前月に比べ15.3%減(前年同月比7.0%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.1で、前月に比べ0.5ポイント減、前年同月に比べ1.4ポイント増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (1月)

昭和60年1月の本県の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が113.5、出荷が118.3、在庫が108.9で、前月比は、生産が△3.0%、出荷が△0.9%、在庫が△3.0%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が2.6%、出荷が5.9%、在庫が17.6%の上昇であった。

生産を業種別にみると、石油・石炭製品、その他工業、一般機械等が上昇し、輸送機械、鉱業等が低下した。

出荷を業種別にみると、石油・石炭製品、その他工業、

精密機械等が上昇し、輸送機械、鉱業等が低下した。

在庫を業種別にみると、精密機械、鉄鋼業、その他工業等が上昇し、鉱業、輸送機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。出荷では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、資本財等が低下した。在庫では、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (1月)

昭和60年1月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で115.8(昭和55年=100)となり、前月比(+1.0%、対前年同月比(+3.6%の上昇)となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草(+16.3%、果物(+10.1%、魚介類(+4.8%

今月下がった主な項目……衣料(-5.4%、他の光熱(-2.5%、書籍・他の印刷物(-1.9%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	115.8	1.0	3.6	保健医療	113.6	0.1	5.0
食 料	117.8	3.0	4.2	交通通信	109.2	△0.3	2.3
住 居	114.9	0.0	2.0	教 育	134.3	0.0	5.2
光熱・水道	108.6	△0.4	0.5	教養娯楽	115.8	0.8	2.5
家具・家事用品	110.1	0.9	5.0	諸 雑 費	114.0	0.2	1.2
被服及び履き物	116.6	△2.8	5.8	生鮮食品を除く総合	114.8	△0.1	2.9